



ブラジル・アルゼンチン移民100周年を迎えお互いの絆を深める



ブラジル・アルゼンチン移民100周年記念式典が8月21日と29日、ブラジルとアルゼンチン両国で行われました。式典を前に八重瀬町役場では、町旗、記念パンフレット、ビデオ・DVDなどを両国の郷友会に郵送しました。ビデオ・DVDは、町文化協会から提供されたもので町の伝統芸能の映像が収められています。また、「八重瀬町 人・海・大地」と題した全19ページカラーのパンフレットには、冒頭で「絆」という言葉と「海山も越えて 世界の果てまでも 思い込めて贈ら 島の響き」という琉歌で町出身者との絆を深めたいと思いが込められています。移民100周年記念の文字を記した町旗については、八重瀬町から訪問する人たちが旗でもって出迎えてほしいと考えています。中村町長は、「寄贈することでお互いの絆が深まることを期待したい」と話しました。

ウエイトリフティング 八重瀬町で合同合宿

今年8月、埼玉県全国高等学校総合体育大会を前に県内高校のウエイトリフティング部が八重瀬町のセミナーハウスにおいて合同合宿を行いました。年に2回行っている合同合宿には、66名が参加しました。平成22年度のインターハイにおいて八重瀬町がウエイトリフティングの会場になるというきっかけで初めて行われました。指導にあっている糸満高校の渡慶次先生は、「合同で行うことで練習方法について情報交換の場になるので県全体のウエイトリフティングのレベル向上に繋がります。また、選手たちのモチベーションもあがります。合宿の成果をインターハイで活かしたい」と話しました。



嘉数美玖さん インターハイで優勝飾る

2008年埼玉高校総体ソフトテニス選手権大会において東風平中学校出身の嘉数美玖さんが中村学園女子高等学校（福岡）の選手として出場し、ソフトテニスダブルスで優勝を飾りました。8月8日、嘉数さんと小学校、中学校時代指導にあっていた宜次の外間勇吉さんが町役場を訪問し成績を報告しました。

嘉数さんは、八重瀬町の子どもたちに「目標をもってやるのが大切。夢をあきらめないでがんばってもらいたい」とエールを贈りました。



右から外間勇吉さん、嘉数美玖さん、中村町長



みんなの協力で河川環境の 保全に取り組みましょう

「あなたの一歩が、明日の川づくり」をテーマに清掃作業が7月13日、雄樋川川岸で行われました。今回のクリーンアップ作戦は住民・行政・事業所等が一体となって、地域住民にとって身近な川である雄樋川に直にふれて、汚染状況の認識を深めるとともに河川浄化への意識を高め、雄樋川の浄化を図り河川環境保全を広くアピールすることを目的としています。